|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 総合 | 第２学年 | 呉市立広南中学校 | 指導者　第２学年部 |

**単元名**

**本単元で育成する資質・能力**

**「広南起業PROJECT」**

**～挑戦問題**　**「ふるさとに貢献する起業に挑戦しよう」～**

**知識・技能　情報収集・判断　思考・表現　挑戦・探究　責任・使命　協力・協働　感謝・貢献**

**１　単元で目指す学びの姿**

**「地域社会に貢献する起業」という問題解決の過程を通して，働くことの意義を理解し，地域に貢献したいという志を持った学びの姿**

**挑戦する**

起業体験の中で，出資金を集めたり，商品の販売，利益の寄付を行ったりすることで社会貢献に挑戦する。

**準備をする**

起業に必要な道筋と，組織づくりや商品開発，広報宣伝などの問題解決に必要な力を手に入れる。

**志を抱く**

先輩の取組や起業家の人から学ぶ中で，地域社会に貢献する起業についての目標を定める。

**２　単元設定の理由**

　　前単元「運命の本ビブリオトーク（職業編）」では，生徒が様々な職業に従事している人の著書を読み，職業と生き方という視点で自分が読んだ本について交流することにより，職業観を広げることができた。また，著書の中に「起業家」に関するものを意図的に取り入れることにより，生徒は，起業家が利潤の追求だけを目的としているのではなく，社会に貢献しようとする高い志を持っていることを知り，「起業して社会に貢献すること」に対する興味・関心を持つことができた。さらに，生徒は，地域の会社経営者から話を聞く機会があり，地域に感謝し，地域と共に生きようとする姿に深い感銘を受けた。そこで本単元では，生徒の興味・関心が高まっている「起業して社会貢献すること」を題材にした「広南起業PROJECT」を行い，自己の能力や適性を踏まえながら，正体を自らの力で切り開こうとする実践的な態度を身に付けさせたい。

「広南起業PROJECT」での資金集めや商品開発，広報宣伝等，これまで経験したことが無い未知なる課題に挑戦し，達成感を味わうことにより，主体的に解決していこうとする意欲を育てることができると考える。また，探究の過程で，職場体験学習等において地域の人・もの・ことと関わることにより，地域への愛着や地域の一員としての自覚が深まると考える。さらに，プロジェクトで得た利益を日本赤十字社に全額寄付することで，社会に貢献することの意義や喜びを実感できると考え，本単元を設定した。

**３　単元目標（学習対象・学習事項）**

　　「地域社会に貢献する起業」という問題解決へ向けて，職場体験と故里を題材にした起業体験活動を通して，地域に貢献する志と問題解決能力の資質・能力を高める。

**４　学習期間**

第２学年　７月～１０月

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| ４月 | ５月 | ６月 | ７月 | ８月 | ９月 | 10月 | 11月 | 12月 | １月 | ２月 | ３月 |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  | 2h | 4h | 26h | 7h | 1h |  |  |  |  |  |

**５　学ぶ姿を見取るため生徒と共有する資質や能力ルーブリック**

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | | **資質・能力** | | **評価** | | **評価基準** | |
| **知識・**  **技能** | | **起業に係る**  **知識・技能** | | S | | 職業には，生計を維持するだけでなく，それを通して自己の能力・適性を発揮し，社会の一員としての役割を果たすという意義があり，そのための知識や技能を高めていくことの重要性を理解することができる。 | |
| A | | 職業には，生計を維持するだけでなく，それを通して自己の能力・適性を発揮し，社会の一員としての役割を果たすという意義があることが理解できる。 | |
| Ｂ | | 職業には，生計を維持するだけでなく，社会の一員としての役割を果たすという意義があることが理解できる。 | |
| Ｃ | | 職業には，社会の一員としての役割を果たすという意義があることが理解できない。 | |
| **横断的・総合的な**  **問題解決の能力** | | **情報収集**  **判断** | | S | | プロジェクトで生じる課題の解決に向けて，様々な方法で情報を収集し，整理・分析する中で，必要な情報を活用することができる。 | |
| A | | プロジェクトで生じる課題の解決に向けて，必要な情報を収集することができる。 | |
| Ｂ | | プロジェクトで生じる課題の解決に向けて，情報を収集することができる。 | |
| Ｃ | | 課題の解決に向けて，情報を収集することができない。 | |
| **思考**  **表現** | | S | | 起業に向けて集めた情報からそれぞれの部問の目的に沿って整理・分析を行い，問題解決の要点をおさえた上で，自分の考えをまとめ，分かりやすく表現することができる。 | |
| A | | 起業に向けて集めた情報からそれぞれの部問の目的に沿って整理・分析を行い，自分の考えをまとめ，分かりやすく表現することができる。 | |
| Ｂ | | 起業に向けて集めた情報から自分の考えをまとめ，分かりやすく表現することができる。 | |
| Ｃ | | 自分の考えをまとめ，表現することができない。 | |
| **実社会における横断的・総合的な問題解決に取組む態度** | **学びに向かう力・人間性** | | **挑戦**  **探究** | | S | | プロジェクトに見通しを持ち，企画段階から自分の考えを示し，メンバーの中心となり，積極的に関わろうとすることができる。 |
| A | | プロジェクトの企画段階から自分の考えを示し，積極的に関わろうとすることができる。 |
| Ｂ | | プロジェクトの企画の段階から積極的に関わろうとすることができる。 |
| Ｃ | | プロジェクトに積極的に関わろうとしていない。 |
| **責任**  **使命** | | S | | 社会の一員として，プロジェクトから学んだことを生かし，未来の担い手としての自覚と高い志を持ち，行動していくことができる。 |
| A | | 社会の一員として，プロジェクトから学んだことを生かし，未来の担い手としての自覚と高い志を持つことができる。 |
| Ｂ | | 社会の一員として，プロジェクトから学んだことを生かし，未来の担い手としての自覚を持つことができる。 |
| Ｃ | | 未来の担い手としての自覚が持てない。 |
| **協力**  **協働** | | S | | 課題解決に向け，他者の意見と取り入れたり，地域の人と連携を図ったりす  る中で，誰もが達成感を持つようなプロジェクトを進めることができる。 |
| A | | 課題解決に向け，他者の意見と取り入れたり，地域の人と連携を図ったりし  ながら，プロジェクトを進めることができる。 |
| Ｂ | | 課題解決に向け，他者とともに協力しながら，プロジェクトを進めることが  できる。 |
| Ｃ | | 他者と協力しながらプロジェクトを進めることができない。 |
| **感謝**  **貢献** | | S | | プロジェクトを通じて，地域の多くの人に支えられていることに感謝し，家  族・地域・社会に貢献することを通して，絆を深めることができる。 |
| A | | プロジェクトを通じて，地域の多くの人に支えられていることに感謝し，家  族・地域・社会に貢献することができる。 |
| Ｂ | | プロジェクトを通じて，地域の多くの人に支えられていることに感謝するこ  とができる。 |
| Ｃ | | 多くの人に支えられていることに気づかず，感謝することができない。 |

**５　本単元の指導計画（総授業時間数　４０時間）**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 月 | 学習内容 | 時数 | 指導上の留意点・評価の視点・方法 |
| ６ | 課題の設定  ○自分の生き方を考えよう  ・仕事とは？  ・自分の適正（得意・不得意，性格・行動　等）  ○呉市キャリアスタートウイークについて  ・今後の予定  **挑戦問題**  **「ふるさとに貢献する起業に挑戦しよう」**  情報の収集  **STEP１**  **「起業家から話を聞こう」**  ・なぜ起業をするの？  ・起業に必要なものは？ | １  １ | ★【挑戦・探究】  　初めての体験である起業について，その意義を理解し，困難なことに挑戦しようとする意識をもつことができる。  ・次回，話を聞く起業家の概略を説明し，起業のことについて，分からないことや疑問点をまとめさせておく。 |
| ７  ８  ９  10 | **STEP２**  **「起業プロジェクトに向けての組織作り」**  ・起業プロジェクトでやってみたいこと。  ・取締役員会への希望の有無  **STEP３「決意書・履歴書を書こう！」**  ・職場体験で身に付けたいことや頑張りたいことを決意書に書く。また，履歴書の意味を知り，実際に記入する。  **STEP４「事前訪問の準備をしよう」**  ・職場体験の事前訪問に向けて電話の応対を学ぶ。  ・名刺に自分の決意を書く。  ・体験日誌についての学習  〈取締役員の決定〉  ・面接を行い，決意を聞く。  **STEP５「職場体験」**５日間  〈取締役員会議〉  ・今後の活動のスケジュールについての確認  ・各部門の活動内容及び役割の確認  整理・分析  **STEP６「お世話になった事業所の方にお礼の手紙を書こう」**  ・体験日誌の提出  ・今後の活動内容について  ・職場体験のまとめ新聞をつくる  まとめ・創造・表現  **STEP７「起業プロジェクトの準備をしよう」**  ○各部門での準備に取りかかる。  ☆社長，経理部  資金調達に向けての準備と実践  　　※小・中学校の先生方から資金を集めための  プレゼン資料を作成する。  　　※各部の活動内容と進捗状況を把握し，今後  の方向性を確認する。  ※寄付についての方針を整理する。  　　※文化活動発表会での報告のための資料を作  成する。  ※ポスター製作  ☆商品開発部  販売する商品の選択，決定  　　※グループごとに開発商品を考え，準備する。  　　※業者との連携やものづくりを進める。  　　※職場体験で，販売のノウハウを学んだ生徒が講師となり，全員に伝え，練習を行う。  ☆宣伝部  宣伝のための歌と踊りの考案  　　※ＣＭづくり  ※ＨＰ等で宣伝を行う。  ※保護者，地域への宣伝活動を行う。  実行  **STEP８「販売（文化活動発表会）」**  ･文化活動発表会で，これまで各部で準備してきた経過について，報告し，企画した商品を販売する。  ・収益は，全額寄付する。  **STEP９「起業プロジェクト　振り返り」**  ・ルーブリックによる自己評価，感想を書く。 | １  １  ２  25  １  ５  ２  １ | ・起業家から話を聞き，疑問に思ったことは，積極的に質問し，解決に近づけるように指導する。  ★【情報収集・判断】  　　メモをとりながら聞き，理解できないことや疑問に思ったことがあれば，質問して情報収集することができる。  ★【思考・表現】  　　自分が決意したことを，相手にわかりやすく表現することができる。  ★【責任・使命】  　　体験の中で自分の役割を自覚し，責任をもってやり遂げることができる。  ★【感謝・貢献】  　　体験で学んだことに対しての感謝の気持ちを表し，今後の起業プロジェクトの準備に生かしていこうとしている。  ★【協力・協働】  　　友達や先生や家族のアドバイスを活用することを目標として意識することができる。  ★【情報収集・判断】  　各部での役割から課題を設定し，それを解決していくために，必要な情報を収集していく。  ★【思考・表現】  　　各部で収集した情報を整理・分析し，課題の解決に向けてしっかり考える。  ★【責任・使命】  　ルーブリックの「責任感・使命感」の基準を確認し，各部での自分の役割を自覚させる。  ★【感謝・貢献】  これまで起業プロジェクトで取り組んできたことやこれから販売していく商品について，説明し，販売する。  ・ルーブリックの項目の自己評価を行い，自己の資質・能力の成長を確認させる。  ・今後の予定として行う「修学旅行」での取組および3年生での「高校調べ」への見通しを持たせ，今後も，協働しながら，いろいろなことに挑戦していくことの大切さを伝える。 |

**６　本時の学習（３３時間目／全４０時間）**

（１）本時の目標

各部のこれまでの仕事内容と今後について報告し，各部の課題解決に向けて，協働しながら作業を行う。

（２）学習の流れ

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 学習活動 | 指導上の留意点（・）  配慮を要する生徒への支援（◆）  予想される生徒の反応（　　　　　　　） | 評価規準  資質・能力（★）  （評価方法） |
| **＜挑戦問題の確認＞**  **挑戦問題「ふるさとに貢献する起業に挑戦しよう」**  **１　課題意識を持つ。**  ・各部のこれまでの活動の報告を行う。  **２　本時のめあてを確認する。**  **めあて　ＳＴＥＰ７　「起業プロジェクトの準備をしよう」**  ○社長，各部長から，これまでの取組の経過と今日の作業についての説明を行う。  **３　各部の取組を行う。**  ☆社長，経理部  ○集めた資金を表に整理し，確認する。  ○発表プレゼンをまとめる。  ・取組の経過に合わせて，写真を選ぶ  ・スライドの流れに合わせて，発表原稿をつくる。  ・発表の流れを確認する。  ☆商品開発部  ・商品を仕上げる。  ・販売ブースの案を考える。  ☆宣伝部  ・ＣＭづくりに向けて，考えてきた踊りを整理し，完成させる。  ・踊りの練習を行う。  **４　各部の報告を行う。**  **５　文化活動発表会に向けて**  ・本時の振り返りをする。 | ・挑戦問題にそった各部の報告を行わせるため，事前に各部長と入念に打合せをしておく。  ・これまでの実践に自信をもって取り組むように，教師による声かけも行う。  ・事前にメモにまとめておいた取組の経過について，確認させ，それをもとにスライド資料を作成させる。  ・販売については，お客様の目線で考えることを伝える。  ・自分たちの踊りをビデオで撮影し，視聴しながら自分たちで課題を見つけ，改善していく。  生徒の発表例  ・社長，経理部では，文化活動発表会当日の報告をパワーポイントでまとめ，リハーサルを兼ねて紹介する。  ・宣伝部では，当日の踊りを披露する。  ・商品開発部では，販売ブースの案や販売の注意事項を報告する。 | ★【思考・表現】  各部で収集した情報を整理・分析し，課題の解決に向けてしっかり考える。  ・この取り組みで身に付ける資質・能力の基準を伝え，見通しを持たせる。 |